

# くも膜下出血術後患者の回復過程に影響する要因と支援ニーズの実態に関する研究

## 1. 研究の対象

2022年3月～2024年3月にくも膜下出血により手術を受けられる方

## 2. 研究目的・方法

くも膜下出血患者の術後に焦点を当て、経時的な観点から回復過程と影響要因を明らかにすると共に、患者の支援ニーズを同時に明らかにすることにより、回復促進に向けた看護実践を考えることを目的としています。調査はカルテからの情報収集及び観察・聞き取り調査、退院時および退院後にインタビュー調査を実施します。研究期間は2024年3月を予定しています。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別等の基本情報、疾患の重症度や合併症の有無、脳槽ドレナージの有無、リハビリテーションの有無と開始時期等の疾患や治療情報、頭痛などの症状、食事や排便状況、不安などの心理的情報等

## 4. 外部への試料・情報の提供

利用する診療情報や収集した情報は、匿名化・データ加工し、その後、研究代表者の研究機関である山梨県立大学に提供します。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

## 5. 研究組織

研究責任者 山梨県立中央病院 6B病棟 今井航希

研究代表者 山梨県立大学看護学部 新藤裕治

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

山梨県立中央病院 6B病棟

〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目1番1号 TEL：055-253-7111（代表）

研究責任者：山梨県立中央病院 6B病棟 今井航希

研究代表者：山梨県立大学看護学部 新藤裕治